

町政覚え書き

第29回 幼児期からのスポーツ習慣が生涯の健康を保証
～子どもの「体力向上」に光を当てた政策を～

大河原町長 伊勢 敏

小学校時代、帰宅直後、国語の教科書を大きな声で読んだ。これは、勉強していると母に思わせる作戦だ。次に漢字練習や算数を勉強しているフリをし、母の目を盗んでソックスと家を抜け出し、友達と作った野球チーム(四番でピッチャー)の練習をした。夏休みはプール通いが加わる。

I 東京都の資料では、小学生の1日当たりの歩数は1979年の2万7千歩から2011年に1万1千歩余りに激減している。今や小学生の1割が肥満状態など、憂慮すべき状況である。

II 日本臨床スポーツ医学小児科部会長の馬場礼三医師は「小児の身体活動は肥満を防ぎ、生活習慣病を予防する。幼少期に運動が好きだった子供は、その後も運動をする時間が長く、体力が高」とされ、中学・高校で運動部に所属すると、成人後の運動習慣につながる。少年期のスポーツは成人後の健康を保証するだろう」と語っている。

III 北海道標津町立川北小は体育専門の教員を配置し、永く水泳に親しんできたせいか、町長就任後、健康づくりを率先して実践するため水泳を始めたところ、一回千回程度、月三回程度のペー...

梅雨の合間を縫って梅づくし

6月28日、JAみやぎ仙南・白石倉庫仙南さくら営業所で「第9回おおがわら梅まつり(主催:金ヶ瀬梅組合・大河原町・大河原町観光物産協会)」が開催されました。

まつり当日は曇り空で途中小雨が降ったり止んだりしていたものの、早朝から会場には長蛇の列ができおり、新鮮な梅を購入しようと町内外から大勢のかたが来場しました。会場内では出店コーナーもあり、梅を使ったお菓子や加工品、味噌の量り売りやお惣菜なども販売され、より一層会場を賑わせていました。

また、梅狩り会場の堤梅団地では、梅狩り体験ができ、初めて訪れた人たちからは「こんなに楽しいとは思わなかった。また来年も来たい」という声も。つつい採り過ぎて予定より多く購入して帰る人も多く見られました。

第9回おおがわら梅まつり



「3分間で一升マスに盛り放題」。一粒でも多く慎重にマスに梅を盛っています。



「ここまで飛ばせるのか?」「梅干しの種吹き飛ばし大会」。

楽しさいっぱい、おなかもいっぱい

金ヶ瀬カトリックタ涼み会

7月11日、金ヶ瀬カトリック保育園で毎年恒例のチャリティータ涼み会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、夕方になっても蒸し暑さが残っていましたが、保護者をはじめ地域のお年寄りや小学生たちがたくさん集まりました。オープニングでは園児たちのかわいらしい金魚などをテーマにしたダンスが披露され、その後子どもたちは出店で食べ物を購入するために必要なチケットを手に入れようと、ゲームコーナーへ一目散。チケットを手に入れ早速出店コーナーに長蛇の列ができたかと思ったら、恒例のどんどん焼きはたちまち完売となりました。終盤にはおじいちゃんおばあちゃんも一緒に手持ち花火を楽しむなど、子どもから大人まで夏のひとときを満喫しました。



▲かわいい金魚の衣装とダンスで、来場者を和ませた園児たち。

思いやりを大切に

金ヶ瀬小学校人権教室

大河原人権擁護委員による「人権教室」が、金ヶ瀬小学校4年1組の児童たちを対象に、7月8日金ヶ瀬小学校音楽室にて開催されました。

教室では、「人権擁護」とは何かという説明をはじめ、子どもたちがわかりやすいようにいじめについて考えるDVD視聴などを交え、「相手への思いやりの心や命の大切さ」についてみんなで考えました。

最後に参加した児童たちから感想が述べられ、「いじめられているのを黙って見ているのも、いじめているのと同じことだと知った」など改めて周りの人への思いやりの大切さについて実感していたようでした。



▲森人権擁護委員の話に真剣に聞き入る子どもたち。



「まちの本棚」

駅前図書館今月の新刊

一般/山手線 日本鉄道車両研究会/著 夢現舎/編 [彩流社] 明治5年の品川駅の開業から140年以上の歴史をもつ山手線。様々な変化を遂げてきた山手線の今昔を、各駅及び周辺の懐かしい写真と共にたどる。2020年開業予定の30番目の駅「品川-田町間の新駅」にも触れる。

小説/ティーンズ・エッジ・ロックンロール 熊谷 達也/著 [実業之日本社] 2010年、宮城県のある港町。高校の軽音楽部の扉を叩いた匠は遥と出会い、ライブハウスをつくるという目標を見出す。地元緑を巻き込み、成長する少年たち。そして、3月11日。「月刊ジェイ・ノベル」掲載を単行本化児童/お父さんとお話のなかへ

原 正和/著 [本の泉社] 小学生になったばかりのともちゃんに、お父さんが毎月ひとつお話をします。花いっぱい庭(にわ)、クローバー野原の妖精(ようせい)、にじのお店、涙(なみだ)、おばけドロロン、ドロロン。お父さんのお話が、ともちゃんは大好き。お父さんがまくお話の種(たね)は、やがてともちゃんのなかで芽(め)をだして...

ぼこぼこぼこぼこ [学研教育出版] うみをもっとしりたくなるーみているだけで、しぜんのだしさがわかるーうみのひろさ、うみのみず、うみのながれ、うみのそこや、なみ、うみにすんでいるいきものなどについて、イラストでたのしくしゃべります。

うれしいやくそく 絵本/ [うれしいやくそく] 小さいしげのり/作 いしい つとむ/絵 [廣済堂あかつき] きょうは、わくわくやまへえんそくにいくひです。とびぎりたのしいえんそくにしようやくそくしていたのに、キツネくんはあしをけがして、えんそくにいくことができません。わくわくやまでのたのしいえんそくがおわると、みんなはキツネくんのいえにやってきました。